

ホタルの幼虫を放流しました

尼崎市立武庫小学校 濱田 康助

今年の6月下旬から飼育をはじめたホタルですが、今日（11/17）、学校横（むこっ子ロード）を流れる農業用水路に放流しました。

卵から、出てきた幼虫は、顕微鏡でようやく見られる程度の大きさでしたが、この半年ほどでしっかり成長していました。大きいものでは長さが3cm、幅が6mmあまりにも育っていました。予想以上にたくさんの幼虫が育ち、関わってきた3年生の子どもたちも喜んでいきます。



今日は午前11時から、西武庫公園ホタル会のみなさんも協力くださって、これまでの振り返りなどを含めたセレモニーのあと、ホタルの幼虫を3年生全員で約100匹弱放流しました。

今日放流した幼虫がうまく育ち、来年の5月下旬から6月上旬のころにむこっ子ロードで飛び交ってくれることを願っています。むこっ子ロードの農業用水路でホタルが飛び交うようになるには、まだまだ取り組まなければならない課題がたくさんあります。しかし、子どもたちの取り組みや関わりが地域のみなさんの理解を得る契機にもなると信じて今後の学校の取り組みを考えていかなければならないと思っています。



武庫小学校で育てたホタルが、地域で飛び交うようになることを願いつつ、今後も環境教育の取り組みを進めて行きたいです。



同じ期間でも育ち方には、個体差がみられました。



大きく育ったホタルの幼虫



1匹だけ色素のない幼虫がいました。これもアルビノなのでしょうか？

